

(作成年月日) 2024 年 9 月 30 日

研究に関する情報

当施設では、下記研究「心理職養成課程における多職種連携能力を涵養する実習プログラムの継時的効果」を実施しております。この研究は厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和 3 年 3 月 23 日制定、令和 4 年 3 月 10 日一部改正。）に従い、香川大学医学部倫理委員会で承認されたものです。

この度、心理職の多職種協働実践力を育む実習プログラム内容の質向上を目指した新規研究を行う計画を立てています。そのため、「心理職養成課程における多職種連携能力を涵養する実習プログラムの継時的効果」で取得した多職種連携教育への準備性・志向性に関する自己評価の情報を新規研究に二次利用させて頂きたいと思っています。研究概要及び二次利用に関する情報（対象、情報内容）については下記のとおりです。二次利用に際しては香川大学医学部倫理委員会で承認され、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

新規研究の内容は定まり次第、その情報を公開し、同様に二次利用拒否の機会を保障します。なお、この研究に関するお問い合わせにつきましては、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。

[研究課題名]

心理職養成課程における早期多職種連携教育の短期及び継時的効果の検討

[研究の目的]

1 年次に実施する多職種連携教育が、その後のチーム協働に関する学習準備性と社会的スキルに及ぼす影響を短期的、継時的に測定し、その変化に関与する要因を探索的に検討することを目的としました。

[対象者]

短期的効果検討の対象者は 2020 年度に香川大学医学部医学科及び臨床心理学科に入学された方で、2020 年度の実習前後に実施した調査協力に同意された方。継時的効果検討の対象者は 2020 年度に入学された臨床心理学科の学生で 2020 年度から 2023 年度の実習前後に実施した調査協力に同意された方。

[二次利用を計画している情報]

多職種連携教育への準備性・志向性に関する自己評価項目

[二次利用の対象となる方]

上記継時的効果検討の対象者となった 2020 年度に香川大学医学部臨床心理学科に入学された方の内、2020 年度（1 年次）から 2023 年度（4 年次）を通じて実習前後に実施された調査協力に同意された方。

[研究組織]

香川大学医学部臨床心理学科 心理実践職能学 准教授 長谷綾子

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部臨床心理学科心理実践職能学 准教授 長谷綾子

電話 087-898-5111（代表）8:15～17:15 FAX 087-891-2016

087-891-2496（直通）9:00～18:00